

宮崎県小林市（国内 33 例目）の高病原性鳥インフルエンザ発生農場に係る
疫学調査チームの現地調査概要

令和 2 年 12 月 30 日に実施した現地調査により、以下のことを確認した。

1 農場の周辺環境

- ① 当該農場は、山間部にあり、周辺は山林に囲まれている。
- ② 農場から最も近いダム湖までは約 20m 離れており、農場側がかなり高い位置にある。そのダム湖ではカルガモ 166 羽、コガモ 64 羽、マガモ 46 羽等 300 羽以上の水鳥類が確認された。
- ③ 当該農場には開放鶏舎 7 棟があり、発生時はすべての鶏舎で、肉用鶏が飼養されていた。農場は、敷地の北側、東側、南側の半分をコの字にダム湖で囲まれており、発生鶏舎は、北側のダム湖に近い鶏舎であった。

2 通報までの経緯

- ① 当該農場では、約 10 日前から複数の鶏舎で死亡羽数の増加が認められており、12 月 22 日、26 日及び 27 日に家畜保健衛生所が立ち入りして、全 7 棟のうち 1~3 棟の鶏舎の死亡鶏について簡易検査を行い、陰性となっていた。この期間に発生鶏舎での死亡鶏の増加はみられず、これらの検査には、今回の発生鶏舎は含まれていなかった。
- ② 12 月 29 日に、発生鶏舎で死亡羽数の増加が認められたことから、家畜保健衛生所が簡易検査を行ったところ、死亡鶏で陽性が確認された。なお、発生鶏舎以外の全ての鶏舎の死亡鶏について家畜保健衛生所が簡易検査を行ったところ、いずれも陰性であった。
- ③ 飼養管理者によると、発生鶏舎での死亡は鶏舎内に散在しており、他の鶏舎での死亡と特に異なる点は認められなかったとのこと。

3 管理人及び従業員

- ① 当該農場では、通常の飼養管理は 1 名の従業員が行っていたが、約 10 日前から、作業量の増加に対応するため、当該従業員の家族 1 名と、系列農場から 2 名が応援に来ていた。発生前には、これらの 4 名の従業員が、毎日、鶏舎において鶏の健康観察を行うとともに、死亡鶏の回収等の作業を行っていた。
- ② 飼養管理者によると、このうち 3 名が主に鶏舎内の作業を行うが、特に担当は決まっていないとのことであった。また、系列農場からの応援者 2 名は、通常、それぞれ別の農場で作業を行っているが、当該農場に応援に来る前は、これらの農場は空舎であったとのこと。
- ③ 飼養管理者によると、発生鶏舎の修理のため、12 月 13~16 日、系列農場の従業員が発生鶏舎内に入って作業を行ったとのこと。ただし、この際、車両消毒を行うとともに、農場専用の衣服、長靴を着用しており、また、同じ日に他の農場に入ることはなかったとのこと。

4 農場の飼養衛生管理

- ① 飼養管理者によると、従業員は、農場専用の作業着と長靴及び手袋に交換してから、農場に入っていた。また、鶏舎毎に専用の長靴と踏み込み消毒槽を設置していたが、手袋の交換や手指の消毒は実施していなかったとのこと。
- ② 鶏舎横には飼料タンクが設置されているが、当該タンク上部には蓋が設置されており、タンク内への野鳥等の侵入やタンク内の飼料への野鳥の糞等の混入の可能性は低い状況であった。
- ③ 飼養管理者によると、飼養鶏への給与水は、発生鶏舎を含む 3 鶏舎は地下水をくみ

あげ、その他の鶏舎は水道水を一旦貯水タンクに貯め消毒薬を添加後、各鶏舎に供給しているとのこと。

- ④ 飼養管理者によると、死亡鶏については、農場内の冷蔵庫に保管し、死亡鶏の数に応じ毎日もしくは数日おきに回収業者を呼んで回収していたが、回収業者の車両が農場内に入ることはなかったとのこと。
- ⑤ 飼養管理者によると、当該農場では、農場全体で数日にかけてオールイン・オールアウトしており、オールアウトした後、鶏糞の除去や洗浄・消毒を実施していたとのこと。
- ⑥ 飼養管理者によると、車両が当該農場に出入りする際には、農場入口の動力噴霧器で消毒を行っていたとのこと。

5 野鳥・野生動物対策

- ① 発生鶏舎は入口の反対側の換気扇から排気する方式の開放鶏舎であった。換気扇の外側には自動的に開閉する遮蔽板がついており、上部の換気扇の遮蔽板は完全には閉まらなかったが、排気ファンの内側には金網が張っており、最近、小動物等が侵入した痕跡はなかった。
- ② 鶏舎の側面には、金網（約 2.5 cm）とその外側にロールカーテンが設置されており、鶏舎の外壁、金網、ロールカーテン等に破損は見られなかった。
- ③ 発生鶏舎の屋根の梁の鶏舎外の貫通部に数センチの空隙を複数確認したが、調査時には、小動物が侵入した形跡は見られなかった。
- ④ 飼養管理者によると、農場内では、カラス、ネコ等が見られるが、鶏舎内で見ることはないとのこと。調査中には、農場内でハシブトガラスを確認した。また、鶏舎内でネズミを見ることはあり、空舎になった際には薬剤による駆除を行っていたとのこと。